

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成25年度上半期の状況】

本市の平成25年度上半期の給水量（有収水量）は、上水道と簡易水道を合わせて3,323,176 m³で前年度と比較して0.16%増加しています。また、給水件数は21,969件で9.3%減少しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益6億6,449万8千円（前年度6億5,008万2千円）で2.2%の増となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで2億9,243万8千円（前年度2億7,579万3千円）で6.0%の増となっており、収益及び費用ともほぼ昨年並みの執行状況となっております。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成24年度決算概要】

平成24年度の水道事業の業務量のうち年度末給水件数は、21,742件（上水19,502件、簡水2,240件）で前年度末に比べ176件（0.82%）増加し、年間給水量は、6,695,972 m³（上水6,041,866 m³、簡水654,106 m³）で前年度に比べ58,135 m³（0.87%）増加しました。

建設改良の状況につきましては、上水道事業では、合併創設第1次変更事業として災害時にも安定的な配水が行えるようブロック化配水に向けた配水本管の布設工事や減圧弁設置工事を行いました。

また、老朽管路の更新として石綿管の耐震管への取替工事や公共下水道、駅南区画整理事業などの公共工事に関連した配水管の移設及び布設工事を実施しました。

今後も、総社市水道ビジョンに基づいた事業を実施することにより、安全・安心・安定した水道水の供給に努めてまいります。

簡易水道事業については、昭和簡易水道施設整備事業として、既設簡易水道の統合整備等を行うため、種井地区に配水加圧ポンプ場及び管路等の整備を実施しました。また、より安全な水道水を供給するため、美袋水源地に紫外線処理施設の電気計装設備の設置を実施しました。

これらの工事により、平成10年度から実施していました昭和簡易水道施設整備事

業は、予定していました工事のすべてが完了しました。

財政状況につきましては、上水道事業の事業収益は、料金収入 8 億 4,034 万 9 千円などの営業収益 8 億 7,807 万 8 千円、営業外収益 1,266 万 2 千円の合計 8 億 9,074 万（税込額 9 億 3,404 万 9 千円）で、前年度に比べ 216 万 2 千円の増収となりました。事業費用は、営業費用 7 億 4,839 万 2 千円、営業外費用 6,868 万 4 千円、特別損失 202 万 5 千円の合計 8 億 1,910 万 1 千円（税込額 8 億 5,247 万 4 千円）で前年度に比べ 1,296 万 3 千円の増加となりました。この結果、平成 24 年度の収益的収支は、7,163 万 9 千円の当年度純利益が生じています。

簡易水道事業の事業収益は、料金収入 8,666 万 6 千円などの営業収益 9,086 万 2 千円、営業外収益 1 億 5,494 万 5 千円の合計 2 億 4,580 万 7 千円（税込額 2 億 5,032 万 3 千円）で、前年度に比べ 1,733 万 9 千円の増収となりました。事業費用は、営業費用 2 億 479 万 9 千円、営業外費用 3,141 万 9 千円、特別損失 93 万 5 千円の合計 2 億 3,715 万 3 千円（税込額 2 億 4,156 万 2 千円）で、前年度に比べ 182 万 4 千円増加しました。この結果、平成 24 年度の収益的収支は、865 万 4 千円の当年度純利益が生じています。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

1. 給水状況 上半期(H25. 9. 30現在)

区分	上水道			簡易水道		
	平成25年度	平成24年度	増減	平成25年度	平成24年度	増減
給水件数(件)	19,720	21,169	△ 1,449	2,249	3,044	△ 795
給水人口(人)	56,419	56,100	319	7,225	7,208	17
配水量 (m ³)	3,452,086	3,377,321	74,765	374,658	363,387	11,271
給水量 (m ³)	2,991,394	2,997,984	△ 6,590	331,782	319,946	11,836
有収率 (%)	86.7	88.8	△ 2.1	88.6	88.0	0.5

2. 損益計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	439,321	46,669	485,990
(2) 営業外収益	12,395	166,113	178,508
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	451,716	212,782	664,498
(4) 営業費用	197,391	48,090	245,481
(5) 営業外費用	32,842	14,113	46,955
(6) 特別損失	0	2	2
総費用 (4)+(5)+(6) B	230,233	62,205	292,438
当期純利益(損失) A-B	221,483	150,577	372,060

3. 貸借対照表 (平成25年9月30日)

上水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	8,443,558	固 定 負 債	142,168
流 動 資 産	1,608,897	流 動 負 債	180,578
		負 債 合 計	322,746
		資 本 金	3,120,111
		剰 余 金	6,609,598
		資 本 合 計	9,729,709
資 産 合 計	10,052,455	負 債 資 本 合 計	10,052,455

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	4,086,810	固 定 負 債	22,911
流 動 資 産	386,286	流 動 負 債	36,521
		負 債 合 計	59,432
		資 本 金	1,423,780
		剰 余 金	2,989,884
		資 本 合 計	4,413,664
資 産 合 計	4,473,096	負 債 資 本 合 計	4,473,096

4. 平成24年度決算の概要

損益計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位 千円)

項目	金 額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	878,078	90,862	968,940
(2) 営業外収益	12,662	154,945	167,607
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	890,740	245,807	1,136,547
(4) 営業費用	748,392	204,799	953,191
(5) 営業外費用	68,684	31,419	100,103
(6) 特別損失	2,025	935	2,960
総費用 (4)+(5)+(6) B	819,101	237,153	1,056,254
当年度純利益(損失) A-B	71,639	8,654	80,293

貸借対照表 (平成25年3月31日)

上水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	8,239,103	固定負債	142,168
流動資産	1,596,189	流動負債	141,992
		負債合計	284,160
		資本金	3,212,213
		剰余金	6,338,919
		資本合計	9,551,132
資産合計	9,835,292	負債資本合計	9,835,292

簡易水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	3,905,600	固定負債	22,910
流動資産	397,502	流動負債	35,812
		負債合計	58,722
		資本金	1,451,813
		剰余金	2,792,567
		資本合計	4,244,380
資産合計	4,303,102	負債資本合計	4,303,102

企業債残高明細

上水道

(単位 千円)

借入先	平成23年度 末残高	平成24年度		平成24年度 末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	1,470,036		87,729	1,382,307	平成52年3月
地方公共団体 金融機構	909,224	82,900	51,163	940,961	平成55年3月
吉備信用金庫	64,600		13,500	51,100	平成31年3月
中国銀行	60,800		7,600	53,200	平成32年3月
トマト銀行	62,580		20,860	41,720	平成27年3月
合計	2,567,240	82,900	180,852	2,469,288	

簡易水道

(単位 千円)

借入先	平成23年度 末残高	平成24年度		平成24年度 末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	871,006		40,377	830,629	平成50年3月
地方公共団体 金融機構	456,162	23,200	12,353	467,009	平成53年3月
合計	1,327,168	23,200	52,730	1,297,638	

総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

【平成25年度上半期の状況】

本市の平成25年度上半期の給水量（有収水量）は、112,130 m³で前年度と比較して14.1%減少しています。また、給水件数は昨年度と同様に19社に給水しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益1,676万6千円（前年度1,666万円）で0.6%の増となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで832万1千円（前年度786万7千円）で5.8%の増となっています。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成24年度決算概要】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年度に一部給水を開始し、現在19社に給水しています。給水量は、契約水量1日2,000m³（19社の合計）に対し、1日平均給水量622.1m³、1日1社平均給水量32.7m³で、年間の給水量は227,066m³となりました。

平成24年度の事業収益は3,338万9千円（税込額3,504万5千円）で前年度に比べ309万9千円の減収で、そのうち給水収益は3,306万7千円で、前年度に比べ11万7千円の減収となりました。事業費用は2,311万2千円（税込額2,476万8千円）で、前年度に比べ275万円の減少となりました。事業費用の減少は、委託料及び支払利息の減少が主な要因です。

この結果、収益的収支の差引で1,027万7千円の当年度純利益を計上することができました。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況 上半期（平成25年9月30日現在）

区分	平成25年度	平成24年度	増減
給水件数(件)	19	19	0
年間契約給水量(m ³)	730,000	730,000	0
配水量(m ³)	113,377	131,521	△ 18,144
給水量(m ³)	112,130	130,535	△ 18,405

2. 損益計算書 上半期（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

（単位 千円）

項目	金額
(1) 営業収益	16,727
(2) 営業外収益	39
(3) 特別利益	0
総収益 (1) + (2) + (3) A	16,766
(4) 営業費用	7,798
(5) 営業外費用	523
(6) 特別損失	0
総費用 (4) + (5) + (6) B	8,321
当期純利益 A-B	8,445

3.貸借対照表 (平成25年9月30日)

工業用水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	336,180	固 定 負 債	10,631
流 動 資 産	165,884	流 動 負 債	4,822
		負 債 合 計	15,453
		資 本 金	153,746
		剰 余 金	332,865
		資 本 合 計	486,611
資 産 合 計	502,064	負 債 資 本 合 計	502,064

4. 平成24年度決算の概要

損益計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位 千円)

項目	金 額
(1) 営業収益	33,066
(2) 営業外収益	323
(3) 特別利益	0
総 収 益 (1) + (2) + (3) A	33,389
(4) 営業費用	21,439
(5) 営業外費用	1,673
(6) 特別損失	0
総 費 用 (4) + (5) + (6) B	23,112
当年度純利益 A-B	10,277

貸借対照表 (平成25年3月31日)

工業用水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	336,537	固定負債	10,631
流動資産	185,733	流動負債	29,584
		負債合計	40,215
		資本金	157,635
		剰余金	324,420
		資本合計	482,055
資産合計	522,270	負債資本合計	522,270

企業債残高明細 (平成25年3月31日現在)

工業用水道

(単位 千円)

借入先	平成23年度 末残高	平成24年度		平成24年度 末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	28,942	0	8,600	20,342	平成29年3月
公営企業金融公庫	11,344	0	10,985	359	平成26年3月
合計	40,286	0	19,585	20,701	